

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【公開番号】特開2003-162752(P2003-162752A)
 【公開日】平成15年6月6日(2003.6.6)
 【出願番号】特願2001-360148(P2001-360148)
 【国際特許分類第7版】

G 0 7 D 9/00

【F I】

G 0 7 D 9/00 4 5 6 F

G 0 7 D 9/00 4 1 6 C

【手続補正書】
 【提出日】平成16年6月3日(2004.6.3)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

紙幣挿入口、識別部、リジェクト部、一時保管部、および紙幣払出し口を上方部に設け、その下方に設けた各種紙幣収納部から払い出される紙幣を検知するセンサーの指令によって搬送路を一時保管部もしくはリジェクト部に切り換える一括フラッパーを設けた紙幣識別装置において、正規に払い出された紙幣が検知センサーの通過後から所定間隔を経ない時点で次の紙幣の払い出しが認識された場合は、正規に払い出された紙幣を前記検知センサーの上流側まで戻し、同時に、正規に払い出された紙幣に続いて払い出された紙幣を紙幣収納部側へ戻した後、一括フラッパーを切り換えてリジェクト部に収納するとともに、リジェクト部へ収納された時点で再度払出し動作をおこなうようにしたことを特徴とする紙幣識別装置。

【請求項2】

正規に払い出された紙幣に続いて払い出された紙幣を紙幣収納部側に戻した後、当該紙幣が紙幣収納部から排出された位置にあるときには、当該紙幣をもリジェクト部に搬送し、あらためて払い出し動作に入ることを特徴とする請求項1記載の紙幣識別装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0008
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、請求項1記載の紙幣識別装置は、紙幣挿入口、識別部、リジェクト部、一時保管部、および紙幣払出し口を上方部に設け、その下方に設けた各種紙幣収納部から払い出される紙幣を検知するセンサーの指令によって搬送路を一時保管部もしくはリジェクト部に切り換える一括フラッパーを設けた紙幣識別装置において、正規に払い出された紙幣が検知センサーの通過後から所定間隔を経ない時点で次の紙幣の払い出しが認識された場合は、正規に払い出された紙幣を前記検知センサーの上流側まで戻し、同時に、正規に払い出された紙幣に続いて払い出された紙幣を紙幣収納部側へ戻した後、一括フラッパーを切り換えてリジェクト部に収納するとともに、リジェクト部へ収納され

た時点で再度払出し動作をおこなうようにしたことを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 2 記載の発明は、正規に払い出された紙幣に続いて払い出された紙幣を紙幣収納部側に戻した後、当該紙幣が紙幣収納部から排出された位置にあるときには、当該紙幣をもリジェクト部に搬送し、あらためて払い出し動作に入ることを特徴とするものであり、この構成により、2 枚目の紙幣である後追い紙幣が搬出されてしまった場合にもエラー動作とならないように対応することができる。